

# 第22回アジア太平洋小売業者大会

2026年10月

東京



○2026年10月、アジア太平洋小売業者大会を東京で開催します。

○この「東京大会」の詳細は、これから実行委員会で検討を進めながら決定していきませんが、このスライドでは、いま決定している概要をご紹介します。

## 1. アジア太平洋小売業者大会とは？①

アジア太平洋小売業協会連合会（FAPRA）に加盟する18か国・地域の小売業トップが一堂に会し、業界の最新動向と共通する課題を隔年で議論する世界有数の国際会議

- この大会は、アジア太平洋小売業協会連合会（FAPRA）に加盟する18か国・地域の小売業トップが一堂に会し、業界の最新動向と共通する課題を隔年で議論する世界有数の国際会議です。
- 1983年に第1回が東京で開催され、40年を超える長い歴史を持っています。
- その参加者数は、最近では2千人や3千人を超え、非常に大規模な大会へと拡大しています。
- 2024年9月にスリランカで第21回が開催され、その約2年後が東京大会となります。

## 1. アジア太平洋小売業者大会とは？②

### **FAPRA加盟国・地域**

中国、台湾、フィジー、香港、インド、インドネシア、  
日本、キルギス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、  
ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、韓国、  
スリランカ、タイ、ベトナム

- FAPRAに加盟している国・地域はご覧のとおりです。
- この地域は世界有数の成長が著しい巨大市場であり、今後も一層の成長が見込まれています。

## 2. 東京大会の概要 ①

### ▶ メインテーマ「小売業の未来 ～革新と普遍～」

会期：2026年10月7日～10月10日

会場：東京国際フォーラムおよび周辺施設

- それでは、2026年の東京大会の概要です。
- メインテーマは「小売業の未来 ～革新と普遍～」です。
- 2026年10月7日～10日まで、東京駅や皇居の近くにある国際会議場「東京国際フォーラム」および、その周辺施設で開催します。

## 2. 東京大会の概要 ②

### プログラム

10月7日(水)：歓迎レセプション

10月8日(木)：開会式／基調講演・分科会／展示会開会式

10月9日(金)：特別講演／分科会／展示会／各国別小売業界  
状況報告／フェアウェルパーティー

10月10日(土)：商業施設等視察ツアー

### 参加者数（想定）

会議 約4,000人、展示会 約10,000人

○7日は歓迎レセプションを、8日と9日の2日間で国際会議と展示会を開催します。

○国際会議には、国内外から70名を超える著名な小売経営者や有識者をスピーカーとしてお招きし、4つの分科会に分かれて、プレゼンテーションや質疑応答を行います。

○参加者数は、国際会議に約4,000人、展示会に約1万人の来場を想定しています。

○歓迎レセプションやフェアウェルパーティー、店舗視察ツアーなど、様々な場面で参加者相互の交流を図ることもできます。

### 3. 東京大会のテーマ

メインテーマ

**「小売業の未来 ～革新と普遍～」**

○「小売業の未来 ～革新と普遍～」というメインテーマのもと、今後、次の4つの視点を踏まえ、国際会議と展示会の準備を進めていきます。

## 4. 東京大会の視点 ①

### イノベーション

AI、ロボティクス

匠の技、現場での創意工夫

- 1つめの視点は、イノベーションです。
- 会議では、AI（人工知能）やロボティクスに代表されるイノベーションが小売業や生活者にもたらすビジネスモデルの変化や新たな価値を議論します。
- また、テクノロジーのほかに、小売業が日頃培ってきた「匠の技」や現場での創意工夫も一種のイノベーションととらえ、それが果たしてきた重要性にも焦点を当てたいと考えております。
- 展示会では、こうしたことを体感できる機会をご提供します。

## 4. 東京大会の視点 ②

### 社会課題への対応

Z世代の台頭、ダイバーシティ  
都市問題、気候変動問題

SDGsの達成  
カーボンニュートラルの実現

- 2つめの視点は「社会課題への対応」です。
- 小売業は、Z世代の台頭やダイバーシティの受容、一部の国で急速に進む高齢化、都市問題、グローバルな気候変動問題など、様々な変化や社会課題への対応に迫られています。



## 4. 東京大会の視点 ③

### 日本の小売業が直面する課題

少子高齢化  
人手不足と人件費高騰  
物流問題  
カスタマーハラスメント  
頻発する自然災害 等

- 3つめは「日本の小売業が直面する課題」です。
- 日本では少子高齢化が進展し、小売業においては人手不足と人件費高騰、物流問題、カスタマーハラスメント、頻発する自然災害など、多くの課題を抱えています。
- 日本の小売業の取り組みは、アジア太平洋地域の小売業者が長期的な展望を描くうえで参考になると考えています。

## 4. 東京大会の視点 ④

### 小売業の経営哲学

顧客第一主義  
三方よし  
自利利他

- 4つめは、「小売業の経営哲学」です。
- 小売業が、いかにイノベーションや様々な社会課題、あるいはビジネス上の問題に直面しようとも、日本の小売業には「顧客第一」という普遍的な法則があります。
- 東京大会では、「三方よし」といった日本古来の商道德や「自利利他」といったアジア由来の思想の大切さにも焦点を当てたいと思っています。

## 5. 最後に ～東京の魅力 ①～

### (1) 日本は魅力的な巨大市場

- ✓ 過去最高を更新する家計の金融資産残高
- ✓ 富裕層の数は米国に次いで世界2位

- 最後に、東京の魅力をご紹介して、このプレゼンテーションを終わりたいと思います。
- 何よりも「日本は魅力的な巨大市場」です。
- 家計の金融資産残高は2024年3月末時点で2199兆円となり、過去最高を更新しました。また日本の富裕層の数は365万人と米国に次いで世界2位となっています。

## 5. 最後に ～東京の魅力 ②～

### (2) 発展を続ける大都市、東京

- ✓歴史や伝統と最先端が共存
- ✓個性豊かな多数の商業集積地やエンタメ
- ✓多数の都市再開発計画

○東京は、17世紀初めに日本の首都となり、以来4世紀以上にわたって発展してきました。

○歴史や伝統と最先端が共存している大都市であり、多数の商業施設やエンターテインメント施設があります。

○東京から日本全国の地方都市へのアクセスも良好ですので、東京にお越しいただき、東京を含む日本各地の魅力をぜひご堪能いただきたいと思えます。

# 第22回アジア太平洋小売業者大会

2026年10月7日～10日

東京



○私たちは、東京大会を、小売業者および小売業に繋がる様々な関係者が一堂に集い、国や地域、業種や業態の垣根を越えて、お互いの経験や現状を共有し、学びあい、交流を深め、ビジネスの機会を探る大会にしたいと考えています。

○参加者の募集は、2026年4月からスタートします。詳細は各国の小売業協会を通じてご案内しますので、多数ご参加ください。

○それでは、東京でお待ちしています。